

釣りだけじゃない！超精密な海底地形図の可能性とは？

高柳茂暢（アジア航測（株）ベンチャー共創室）

キーワード：釣りドコ、海底地形、地形の化石、磯焼け対策、地域活性化

1. 釣りドコの紹介

1.1 釣りドコとは

a) 概要

釣りドコは「極めて詳細な海底地形図が見られる」「釣果を投稿することができる」「釣り場に関する情報が見られる」無料のWebサービスで約2年前にサービスインしました。

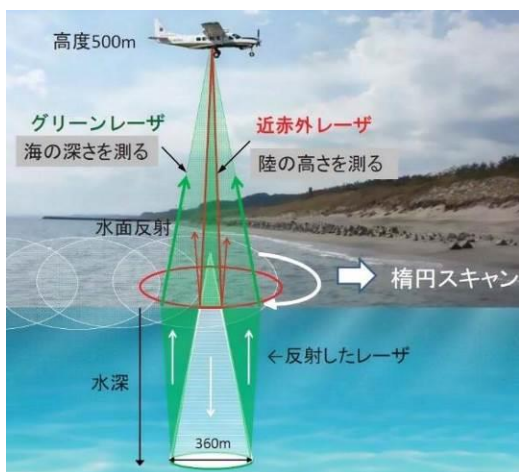
Web アプリのためダウンロードやインストールが不要で、スマホ、タブレット、PCなど閲覧環境を問わないのが特徴です。



b) 海底地形の取得方法

釣りドコで公開している詳細な海底地形図は空からレーザで測量した結果を用いて作成されています。

この技術はまだ世の中に出てから数年の最新技術で、透明度と同等か、最大で透明度の1.5倍くらいの深さまで測量可能です。



1.2 釣りドコの4つのポイント

a) 沿岸域の海底地形は未知の世界

今や火星は25cm解像度で地形情報が取得されているにも関わらず、目の前の海の地形は全くの未知の世界。この世界に飛び込んだのが釣りドコです。

b) 「経験と勘」の世界にDX

釣りは経験と勘が重視される世界ですが、初心者が海底地形からポイントを把握することで、経験者と同じように魚が釣れる可能性がある、つまり釣りドコは、釣りの世界にDXを起こせる可能性を秘めています。

c) 建設土木分野のデータを趣味に活用

非常にお堅いイメージのある建設土木分野のデータを、「釣り」という一般的なサービスに適用した、というのも釣りドコの目新しいポイントです。

d) 静岡県のオープンデータを活用

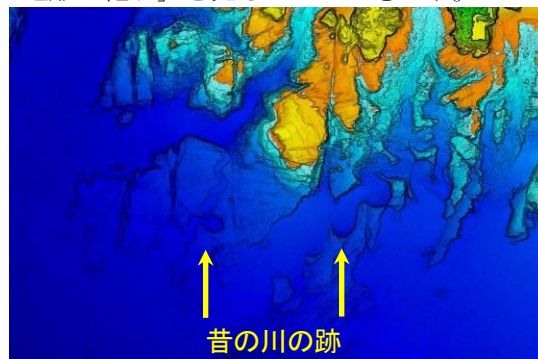
釣りドコでは海底地形図をつくるのに、自社で計測したデータに加えて自治体のオープンデータも活用しています。

釣りドコは静岡県のオープンデータを民生利用した初めての事例となりました。

2. 興味深い海底地形のご紹介（一例）

2.1 地形の化石

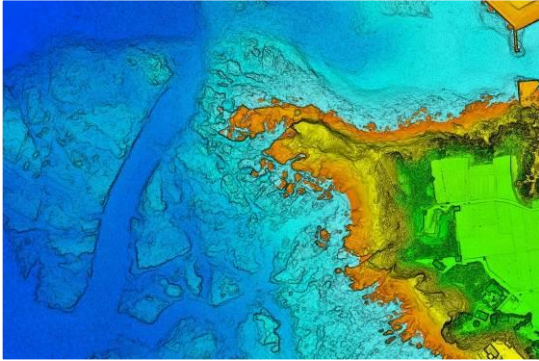
和歌山県白浜町の海底には海面が低かった時代の川がそのまま化石のように保存された「地形の化石」を見ることができます。



2.2 海底の大河

三浦半島の黒崎の鼻の沖合には、幅 50m ほどの大昔の川の跡が残っています。

尾根を横切るように川が流れているのは地質学的にも興味深い事例です。



2.3 日本最古の港湾施設跡

鎌倉の材木座海岸には 800 年ほど前に中国との貿易で使用された港湾施設の痕跡があり「和歌江嶋」と呼ばれています。材木座海岸では今でもこの時に輸入されていた青磁の破片が拾えることがあるそうです。



3. 海底地形図の可能性

3.1 広がる可能性のある分野

海底地形の世界はまだこれから分野で、今後「新たな経済圏を形成する」とまで言われています。超精密な海底地形図は釣りだけでなく「地球科学」「港湾管理」「ゲーム・TV 等のエンタメ」「マリンレジャー」「漁業」などといった様々な分野へ活用の幅が広がることが期待されます。

3.2 活用事例 (一例)

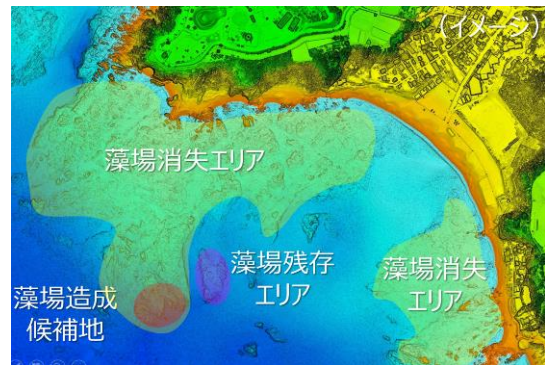
a) ダイビングへの活用

地殻変動や火山の影響を強く受けている伊豆半島では、非常に興味深い海底地形が数多く存在しています。ALB で作成された海底地形図があれば、「ジオダイビング」の新たなポイント発見や潜水前のブリーフィングでの安全管理などができるようになります。

b) 磯焼け対策への活用

ALB で作成した海底地形図は海草が生育する水深をカバーできているので、藻場の物理環境を把握することができ、より効果的な磯焼け対策を検討することが可能となります。

また、藻場のポテンシャルの推定もできることから、ブルーカーボンの枠組みへの活用の可能性もあると考えています。



c) 地域活性化への活用

釣りは裾野が広いアクティビティで、地域へ釣り人を呼び込むことで地域経済への波及効果が期待できます。全国で整備されている「釣り文化振興モデル港」での海底地形図の整備や、「観光 MaaS」のコンテンツの一つとして海底地形図を活用した釣りを盛り込むなど、地域課題への解決にも海底地形図は活用できる可能性を秘めています。

4. おわりに

まだまだ始まったばかりの海底地形の分野がどうなっていくのか。地図は人の数だけ使い方があってと言っても過言ではありません。

そんな無限の可能性を秘めた海底地形の分野を皆さんと一緒に考えていきたいので、「こんな使い方できるんじゃないか？」というアイデアがあればいつでもお気軽にご相談ください。